

研究に関する情報公開

<人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針>に基づき、研究の実施について情報を公開します。

★本研究に関するご質問等がありましたら下記の<お問い合わせ窓口>までご連絡ください。

★ご希望があれば、他の研究対象者の方の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することができます。

★試料・情報が当該研究に用いられることについて、研究対象者若しくは研究対象者の代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象といたしませんので、下記の<お問い合わせ窓口>までご連絡ください。その場合でも、研究対象者の方に不利益が生じることはありません。

<研究課題名> 足底囊腫とミルメシアの超音波検査を用いた鑑別法の探索的観察研究
<研究機関・研究責任者名> 日本大学医学部附属板橋病院 皮膚科 (研究責任者)伊崎 聡志
<研究期間> 承認日 ~ 西暦 2023年 3月 31日
<研究の目的と意義> 足底にできる良性腫瘍のうち、足底囊腫と言われる皮下に袋状の病変ができるものと、ミルメシアと言われるイボの一種は見た目だけでは鑑別が困難です。足底囊腫は治療に切除が必要ですが、ミルメシアは液体窒素による凍結療法でも治癒が望めます。両者を鑑別するためには皮膚生検という病変の一部を切り取る検査が主体ですが、足底の切除はしばらく歩行が困難になったり、運動ができなかったりと生活に支障が出ます。そのため傷をつけない検査法が望まれます。この研究では足底囊腫とミルメシアの患者様に対し施行した超音波検査の結果を比較検討し、両者の鑑別に超音波検査が有用かどうかを調査します。
<利用する試料・情報の項目> 治療前の臨床所見、治療前に行った超音波検査所見、切除後に検討した病理検査所見
<対象となる方> 西暦 2018年4月1日～西暦 2023年3月31日の間に当院皮膚科で超音波検査を施行され、病理組織学的に足底囊腫もしくはミルメシアと確定診断された方。
<研究の方法> 対象となった患者様の臨床的特徴、超音波検査所見、病理組織学的所見を比較します。超音波検査所見の差異と病理組織学的所見を対応させることにより、両者の鑑別法として超音波検査が有用かどうかを調査します。
<お問い合わせ窓口> (日本大学医学部附属板橋病院(東京都板橋区大谷口上町 30-1)) 皮膚科 氏名:伊崎 聡志 電話:03-3972-8111 内線:(医局)2502 (PHS)8146